

遠隔講義実践から見えた 「学生の学び」と「教員の意識」 ～山口大学の事例～

NII第18回サイバーシンポジウム 2020年10月9日(金)

山口大学 教育・学生支援機構

教学マネジメント室 林 透



山口大学のPROFILE

- ◆教育研究組織(9学部、9研究科、1研究所、3機構)
- ◆3キャンパス(吉田(山口市)、常盤・小串(宇部市))
- ◆学生数 8,732名(学部)、1,372名(大学院)
- ◆教員数 985名(任期付教員等を含む)
- ◆職員数 514名(医療系を除く)

【以上、2019年5月1日現在】

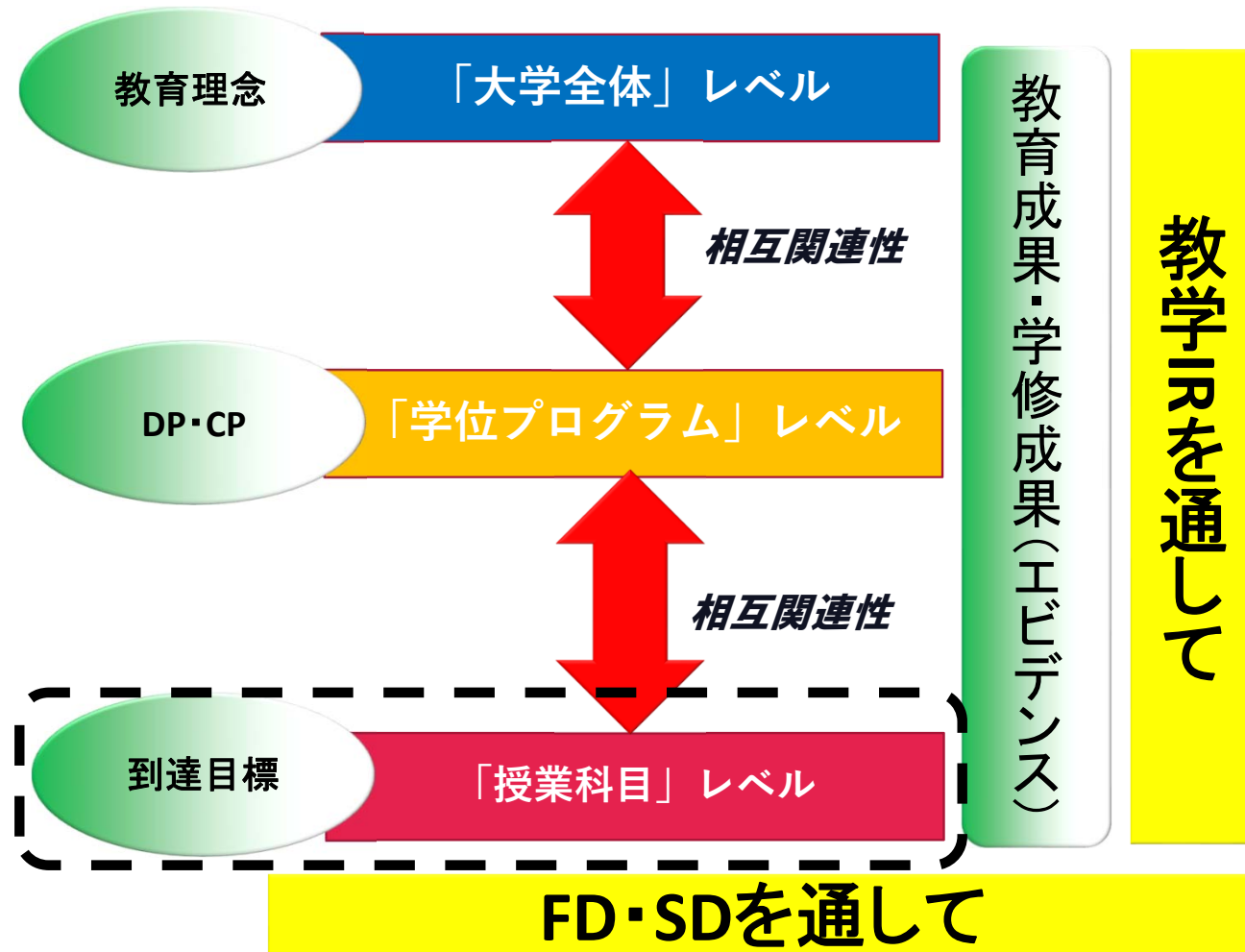
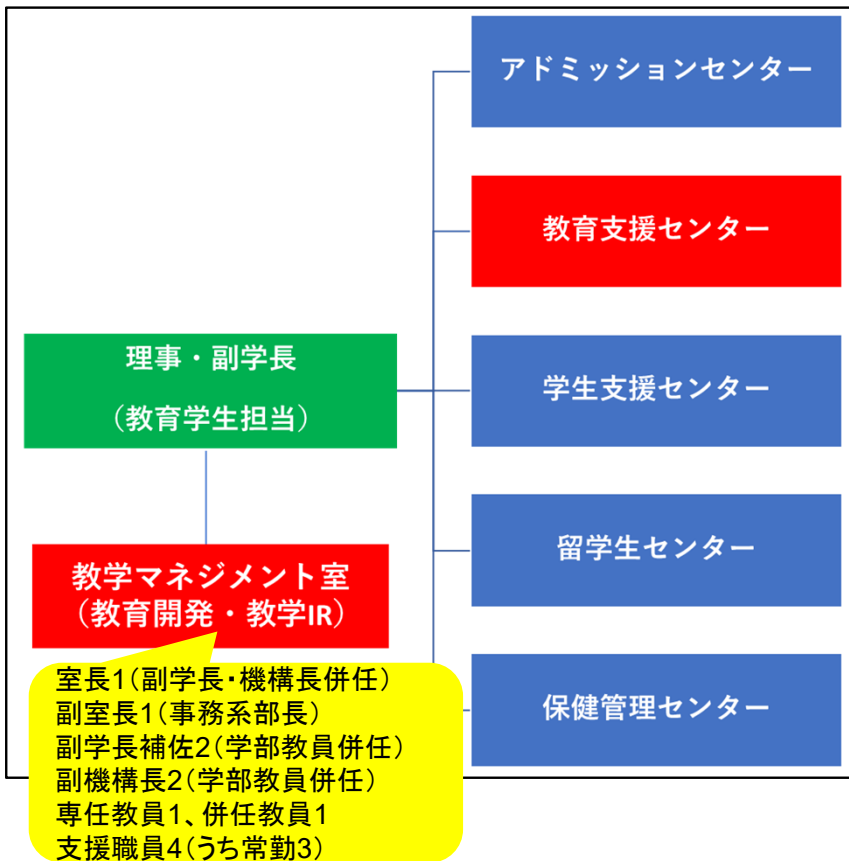
- ◆教育理念「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」
- ◆マスコットキャラクター “ヤマミィ”



- AL (アクティブ・ラーニング) 科目の割合 76.2%[2019年度]
- ALを行う専任教員の割合 87.3%[2019年度]
- 授業外学習時間 15.5時間 (1週間あたり) [2019年度]
- 授業満足度 4.37 (5件法) [2019年度]
- 退学率 1.7%[2019年度]
- 専任教員のFD参加率 毎年度80%以上
- 知財教育・データサイエンス教育の全学必修化
- 英語のプレメントテストの全学実施
- 正課外教育プログラムの先駆け (おもしろプロジェクト)

コロナ禍における教学マネジメント²

2020年4月～新組織



遠隔講義実践から見たこと



遠隔講義に関する学生・教員アンケート(1)

【趣旨】 新型コロナウイルス感染症の影響で、新年度早々から遠隔講義の実施を余儀なくされている中で、現在の遠隔講義の受講状況及び実施状況を把握することを目的に、「遠隔講義に関するアンケート(学生用)(教員用)」を実施した。本アンケート調査結果については、本学の遠隔講義の改善に役立てるとともに、新型コロナウイルス感染症終息後の遠隔講義の有効活用を視野に入れた大学教育の更なる充実に活かす。

【回答対象者】 学部学生(正規学生)、全教員(非常勤講師を含む)

【対象授業科目】 学士課程教育(共通教育及び専門教育)における授業科目

【実施期間】 2020年6月12日(金)～26日(金)

【実施方法】 修学支援システムにおけるポータルを通じたアンケート実施(無記名)

【学生回答数・回答率】 5,004人、57.8%(5,004/8,659人)

【教員回答数・回答率】 527人、常勤46.8%(465/993人)、非常勤14.0%(62/443人)

【集計結果のフィードバック】 教育研究評議会等の学内諸会議に報告
学生・教職員に対する集計結果の学内公表(自由記述を含む)

遠隔講義に関する学生・教員アンケート(2)

【学生アンケート設問概要】

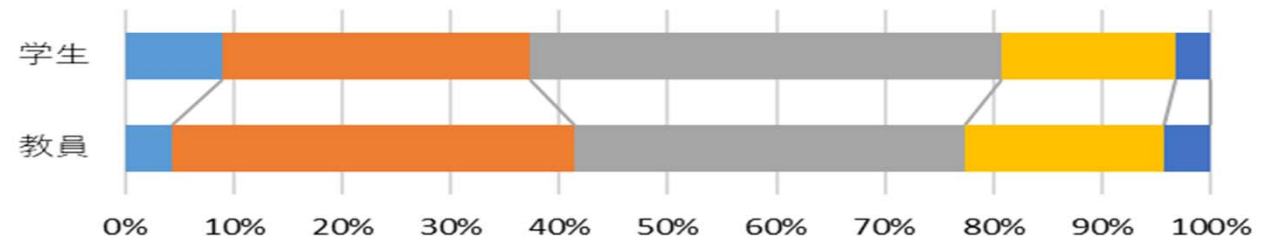
- Q1 遠隔講義の方法
- Q2 遠隔講義で課せられるレポート課題の負担
- Q3 遠隔講義の満足度**
- Q4 遠隔講義における「オンデマンド型」と「リアルタイム型」の希望選択
- Q5 対面講義と遠隔講義の希望選択
- Q6 遠隔講義の受講環境**
- Q7 住居での通信環境
- Q8 遠隔講義の受講に関する要望・意見

【教員アンケート設問概要】

- Q1 コロナ禍以前の遠隔講義実施経験
- Q2 遠隔講義の方法
- Q3 遠隔講義の満足度**
- Q4 遠隔講義における「オンデマンド型」と「リアルタイム型」の希望選択
- Q5 対面講義に対する遠隔講義の利点・欠点
- Q6 遠隔講義の実施環境**
- Q7 遠隔講義の実施に関する要望・意見

遠隔講義アンケートから見える 学生と教員の意識の違い(1)

遠隔講義の満足度（学生N=5,004）（教員N=527）

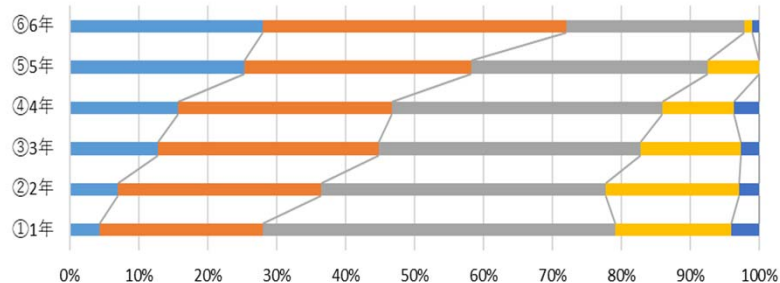


| | 教員 | 学生 |
|--------------|--------|--------|
| ■①非常に満足している | 4.36% | 8.91% |
| ■②ある程度満足している | 37.00% | 28.42% |
| ■③どちらともいえない | 36.05% | 43.49% |
| ■④あまり満足していない | 18.22% | 15.87% |
| ■⑤全く満足していない | 4.36% | 3.32% |

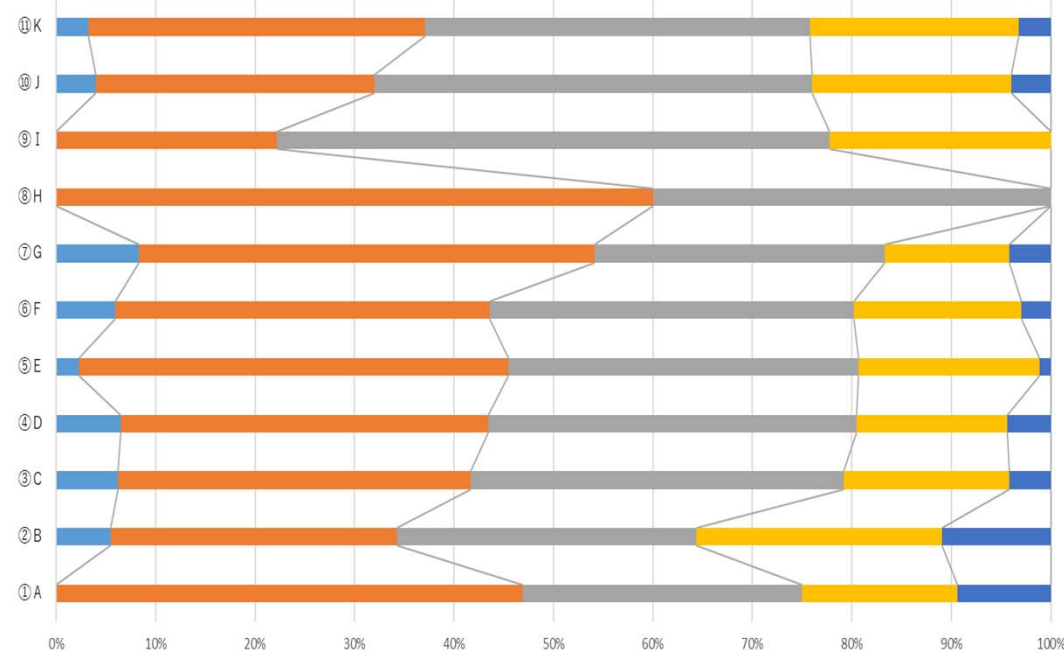
遠隔講義満足度の回答内訳

【教員回答内訳(部局別)】

【学生回答内訳(学年別)】



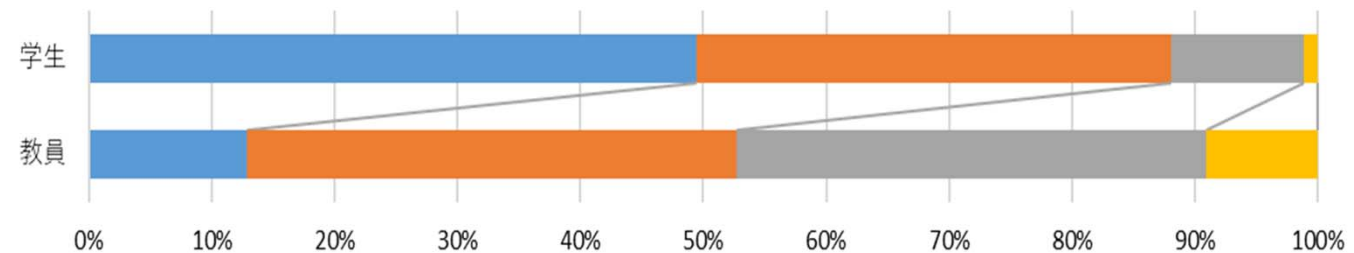
| | ①1年 | ②2年 | ③3年 | ④4年 | ⑤5年 | ⑥6年 |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| ■①非常に満足している | 4.34% | 7.04% | 12.76% | 15.69% | 25.37% | 27.96% |
| ■②ある程度満足している | 23.69% | 29.48% | 32.04% | 30.98% | 32.84% | 44.09% |
| ■③どちらともいえない | 51.06% | 41.19% | 37.95% | 39.22% | 34.33% | 25.81% |
| ■④あまり満足していない | 16.80% | 19.37% | 14.54% | 10.39% | 7.46% | 1.08% |
| ■⑤全く満足していない | 4.12% | 2.91% | 2.70% | 3.73% | 0.00% | 1.08% |



| | ① A | ② B | ③ C | ④ D | ⑤ E | ⑥ F | ⑦ G | ⑧ H | ⑨ I | ⑩ J | ⑪ K |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| ■①非常に満足している | 0.00% | 5.48% | 6.25% | 6.52% | 2.27% | 5.94% | 8.33% | 0.00% | 0.00% | 4.00% | 3.23% |
| ■②ある程度満足している | 46.88% | 28.77% | 35.42% | 36.96% | 43.18% | 37.62% | 45.83% | 60.00% | 22.22% | 28.00% | 33.87% |
| ■③どちらともいえない | 28.13% | 30.14% | 37.50% | 36.96% | 35.23% | 36.63% | 29.17% | 40.00% | 55.56% | 44.00% | 38.71% |
| ■④あまり満足していない | 15.63% | 24.66% | 16.67% | 15.22% | 18.18% | 16.83% | 12.50% | 0.00% | 22.22% | 20.00% | 20.97% |
| ■⑤全く満足していない | 9.38% | 10.96% | 4.17% | 4.35% | 1.14% | 2.97% | 4.17% | 0.00% | 0.00% | 4.00% | 3.23% |

遠隔講義アンケートから見える 学生と教員の意識の違い(2)

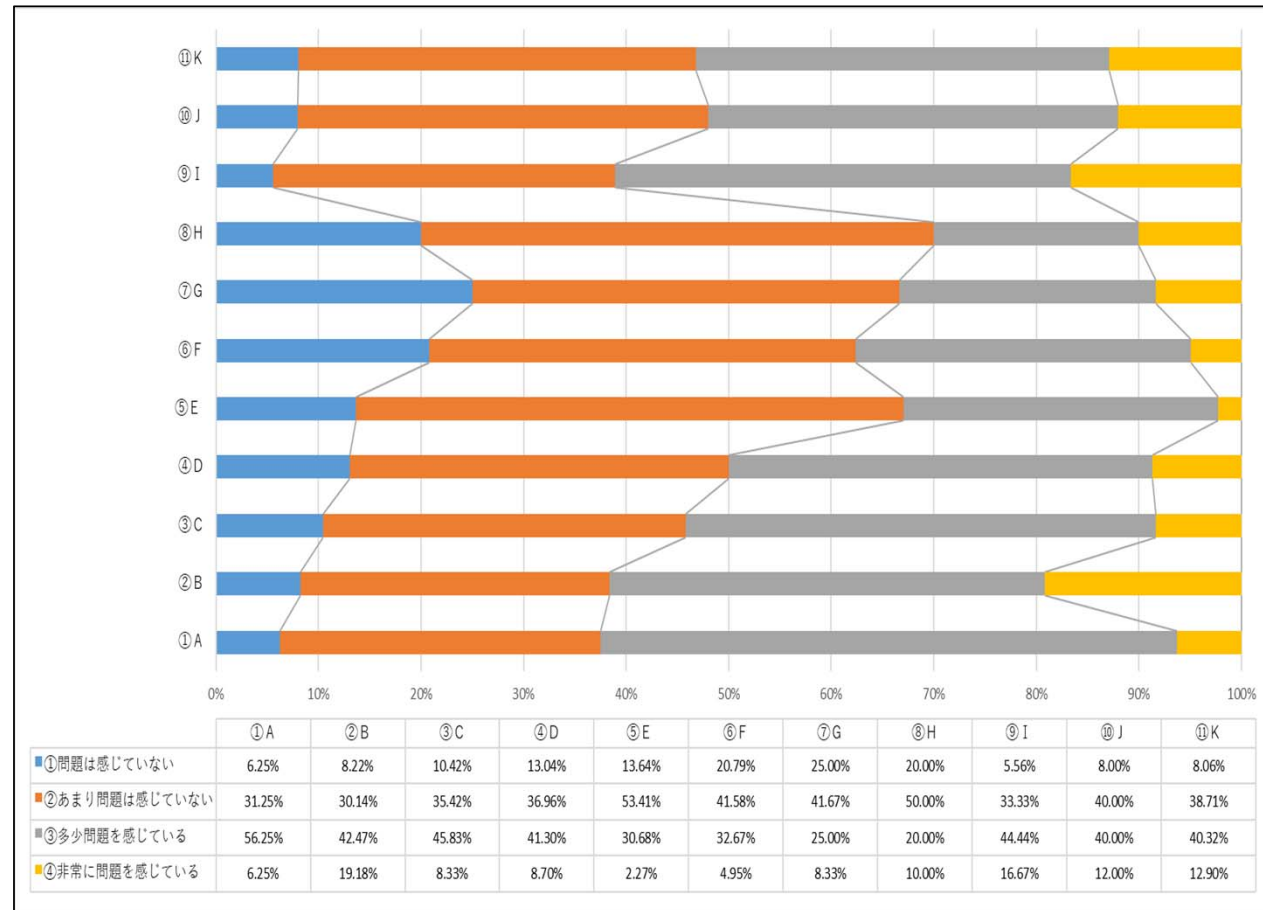
遠隔講義を受講（実施）する環境について（学生N=5,004）（教員N=527）



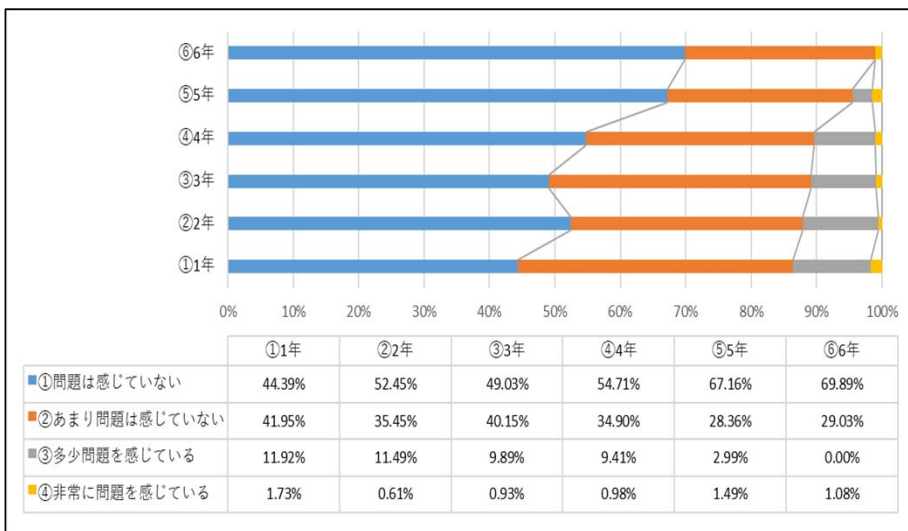
| | 教員 | 学生 |
|----------------|--------|--------|
| ■①問題を感じていない | 12.90% | 49.42% |
| ■②あまり問題を感じていない | 39.85% | 38.69% |
| ■③多少問題を感じている | 38.14% | 10.73% |
| ■④非常に問題を感じている | 9.11% | 1.16% |

遠隔講義受講(実施)環境の回答内訳

【教員回答内訳(部局別)】



【学生回答内訳(学年別)】



学生授業評価・教員自己評価アンケート

学生授業評価【7月6日(月)～8月14日(金)】

- Q1 出席率(出席状況)
- Q2 授業外学修時間(1週間あたり)
- Q3 授業理解度
- Q4 到達目標達成度
- Q5 授業満足度
- Q6 遠隔講義の分かりやすさ《臨時追加》**
- Q7 自由記述

教員自己評価【8月15日(土)～9月30日(水)】

- Q1 授業実施回数(授業実施状況)
- Q2 課した授業外学修時間(1週間あたり)
期待した授業外学修時間(1週間あたり)
- Q3 授業理解度
- Q4 到達目標達成度
- Q5 授業満足度
- Q6 遠隔講義等の具体的な授業実施方法(複数選択可)
《臨時追加》**
- Q7 自由記述

前期・学生授業評価アンケート結果概要(1)

【2020年度前期「学生授業評価」結果速報値（2019年度との比較を含む）】

2020/9現在

| 部局 | 出席率 | 授業外学修時間（分） | 授業理解度 | 到達目標達成度 | 授業満足度 | 遠隔講義の分かりやすさ |
|----------|--------|------------|--------|---------|--------|-------------|
| A | 4.88 ↑ | 99.47 ↑ | 3.76 ↓ | 3.77 ↓ | 3.70 ↓ | 3.56 |
| (2019年度) | 4.87 | 78.27 | 4.35 | 4.23 | 4.33 | — |
| B | 4.66 ↑ | 93.49 ↑ | 4.19 ↑ | 4.00 ↑ | 4.18 ↓ | 4.05 |
| (2019年度) | 4.62 | 64.22 | 4.08 | 3.96 | 4.41 | — |
| C | 4.86 ↑ | 109.97 ↑ | 4.25 ↓ | 4.13 ↓ | 4.19 ↓ | 4.10 |
| (2019年度) | 4.76 | 90.21 | 4.52 | 4.38 | 4.58 | — |
| D | 4.80 ↑ | 86.37 ↑ | 4.06 ↓ | 4.02 ↓ | 4.04 ↓ | 4.03 |
| (2019年度) | 4.64 | 75.80 | 4.25 | 4.14 | 4.34 | — |
| E | 4.82 ↑ | 119.44 ↑ | 3.90 ↓ | 3.84 ↓ | 3.92 ↓ | 3.87 |
| (2019年度) | 4.75 | 102.30 | 4.11 | 4.03 | 4.27 | — |
| F | 4.98 ↑ | 93.86 ↓ | 4.22 | 4.13 ↓ | 4.30 ↓ | 4.17 |
| (2019年度) | 4.83 | 130.81 | — | 4.54 | 4.66 | — |
| G | 4.89 ↑ | 106.94 ↓ | 3.89 ↓ | 3.88 ↓ | 3.88 ↓ | 3.79 |
| (2019年度) | 4.75 | 111.81 | 4.15 | 4.12 | 4.24 | — |
| H | 4.90 ↑ | 91.15 ↑ | 4.10 ↑ | 4.04 ↓ | 4.19 ↑ | 3.96 |
| (2019年度) | 4.85 | 87.78 | 4.03 | 4.34 | 4.10 | — |
| I | 4.98 ↑ | 109.95 ↑ | 4.31 → | 4.26 → | 4.38 ↓ | 4.45 |
| (2019年度) | 4.85 | 100.28 | 4.31 | 4.26 | 4.39 | — |
| J | 4.92 ↑ | 89.51 ↑ | 4.09 ↓ | 3.94 ↓ | 4.05 ↓ | 4.05 |
| (2019年度) | 4.85 | 77.38 | 4.35 | 4.16 | 4.42 | — |

前期・学生授業評価アンケート結果概要(2)

【2020 年度前期・学生授業評価アンケート分析その2（共通教育科目（26,223 件）の相関分析）】

| | | 出席状況 | 授業外学修時間 | 授業理解度 | 到達目標達成度 | 授業満足度 | 遠隔講義の分かりやすさ |
|-------------|---------------|--------|---------|--------|---------|--------|-------------|
| 出席状況 | Pearson の相関係数 | 1 | .069** | .241** | .248** | .200** | .188** |
| | 有意確率（両側） | | .000 | .000 | .000 | .000 | .000 |
| | 度数 | 26223 | 26223 | 26223 | 26223 | 26223 | 26223 |
| 授業外学修時間 | Pearson の相関係数 | .069** | 1 | .079** | .103** | .051** | .035** |
| | 有意確率（両側） | .000 | | .000 | .000 | .000 | .000 |
| | 度数 | 26223 | 26223 | 26223 | 26223 | 26223 | 26223 |
| 授業理解度 | Pearson の相関係数 | .241** | .079** | 1 | .764** | .725** | .633** |
| | 有意確率（両側） | .000 | .000 | | .000 | .000 | .000 |
| | 度数 | 26223 | 26223 | 26223 | 26223 | 26223 | 26223 |
| 到達目標達成度 | Pearson の相関係数 | .248** | .103** | .764** | 1 | .691** | .597** |
| | 有意確率（両側） | .000 | .000 | .000 | | .000 | .000 |
| | 度数 | 26223 | 26223 | 26223 | 26223 | 26223 | 26223 |
| 授業満足度 | Pearson の相関係数 | .200** | .051** | .725** | .691** | 1 | .728** |
| | 有意確率（両側） | .000 | .000 | .000 | .000 | | .000 |
| | 度数 | 26223 | 26223 | 26223 | 26223 | 26223 | 26223 |
| 遠隔講義の分かりやすさ | Pearson の相関係数 | .188** | .035** | .633** | .597** | .728** | 1 |
| | 有意確率（両側） | .000 | .000 | .000 | .000 | .000 | |
| | 度数 | 26223 | 26223 | 26223 | 26223 | 26223 | 26223 |

**、相関係数は 1% 水準で有意（両側）です。

オンライン授業づくりのためのランチョンFD (教員の学びのコミュニティ)

**オンラインによる
オンライン授業づくり
のためのランチョンFD**

新型コロナウイルス感染症のため、大学の授業は原則としてオンラインによる授業が主となっています。このため、全学の教職員を対象に、Zoomによる「オンラインランチョンFD」を企画いたしました。ぜひ、リアルタイムでのご参加をお待ちしております。なお、当日の記録動画を聴講可能とする予定です。

【Part1】オンライン授業づくりの役立つ基礎知識

「遠隔講義ポータル」の紹介のほか、共通教育・専門教育での実践事例を通して、オンライン授業づくりの役立つ基礎知識を学びます。

第1回：6/12 (金) 12:00~12:40
(講師：創成科学研究科 (工) 准教授 嶋海 幸之)

工学部での実践事例を中心に、オンライン授業での多様な方法を紹介したとともに、実際のオンライン授業での学生の反応や学習評価のあり方などについてお話しします。

第2回：6/17 (水) 12:00~12:40
(講師：教学マネジメント室 准教授 林 透)

「遠隔講義ポータル」の紹介のほか、共通教育における大人気クラスのオンライン授業実践を通して、学習者のためのオンライン授業設計のポイントをお話しします。

【Part2】オンライン授業づくりの役立つ実践スキル

授業支援システム、Moodle、Zoomなどを活用したオンライン授業実践を学びます。

第3回：6/19 (金) 12:00~12:40
(講師：創成科学研究科 (理) 教授 西井 淳)

理学部での実践事例を中心に、オンライン授業での多様な方法を紹介したとともに、実際のオンライン授業での学生の反応や学習評価のあり方などについてお話しします。

第4回：6/24 (水) 12:00~12:40
(講師：経済学部 教授 嶋海 幸之)

工学教育における工夫している点などのオンライン授業でのあり方などについてお話しします。

【申込方法】 各「オンラインFD申込」とし、「氏名、所属、所属学部、所属学科、所属教職員の職名、E-mail: ga115@y.yamaguchi-u.ac.jp」を明記の上、E-mail: ga115@y.yamaguchi-u.ac.jpに申し込みます。申し込みの締め切りは各回開催日の前日までとします。

20200617
教育・学生支援機構 教学マネジメント室
林 透

収録動画を
教職員が繰り返し聴講可能

対面・遠隔
ハイブリット

学生の
学修成果

FD
(ソフト)

実施環境
(ハード)



まとめと今後の展望



「学生の意識」と「教員の意識」

- ★遠隔講義に関する学生アンケート・教員アンケートを通して、
「学生よりも教員の方が、その実施や環境に苦慮している。」
- ★学生授業評価アンケートを通して、
「遠隔講義の分かりやすさが、学生の学び(学修成果)に関係性がある。」
- ★ランチョンFDを通して、
「教員が、遠隔講義のより良い実施方法について積極的に学ぼうとしている。」



ハイブリット型授業を含め、遠隔講義に関する教員側の研修
や環境整備が優先【授業科目レベルの教学マネジメント】

ご清聴いただきまして
ありがとうございました

「志」つなぎ伝える
二百年



— 創基 200周年 —
山口大学

Contact me : toru-h@yamaguchi-u.ac.jp